

三豊・観音寺支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むためのメディア教育の在り方
～さまざまなメディアの有効活用を通して～

2 研究主題について

現行の学習指導要領において、情報教育及び教科指導におけるＩＣＴ活用についての充実が図られている。これは、中央教育審議会において、「社会の変化への対応の観点から教科を横断して改善すべき事項」のひとつとして情報教育が挙げられたからである。また、「効果的・効率的な教育を行うことにより確かな学力を確立するとともに情報活用能力など社会の変化に対応するための子どもの力を育むため、教育の情報化が重要である」などの提言がなされたことによる。

さらに、情報教育及びＩＣＴ活用の充実等については、学習指導要領において重視している事項との関係においても、「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにすることが重要である。また、教師がこれからの情報手段や視聴覚教材、教育機器などの教材・教具を適切に活用することが重要である。」とされている。

こうした考えに基づき、各教科の指導にあたり、現行の学習指導要領では「情報教育」及び「教科指導におけるＩＣＴ活用」の充実について、次の３点が示されている。

- ① 生徒が情報モラルを身に付ける。
- ② コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実する。

- ③ これらの情報手段に加え視聴覚機器や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図る。

これらの提言に則り、メディアの有効活用を通して学習の効率化を図るとともに、生徒の学習意欲の向上を目指して、上記の主題を設定した。

3 研究計画

- (1) 第１回理事・主任研修会（５月２日）
場所 三豊市豊中支所セミナールーム
内容 研究主題、研究組織
行事計画作成
- (2) 夏季研修会(香中研)（８月１９日）
場所 eーとびあ・かがわ
内容 講話、実技研修
- (3) 第２回理事・主任研修会（１月２６日）
場所 三豊市豊中町農村改善センター
内容 本年度の反省と評価
研究のまとめ

4 研究内容

- (1) 研究の内容
 - メディア教育の目的を明確にした授業づくり
 - デジタル機器の授業における効果的な活用
 - さまざまな活動場面でのメディアの有効活用
- (2) 教科での実践事例
 - ① 理科
 - 大型テレビとＰＣの活用
 - ア 音の波形のグラフ化



音の高低による周波数の違いを表示した。パソコンやオシロスコープの画面では小さくて見づらいが、大型テレビとコンピュータを組み合わせることで、生徒全員が一斉に見て考えることができた。

イ 星座の年周運動

天体シミュレータで星座の年周運動を表示し、太陽が星座の間を西から東へ移動して見えることを考察した。視覚的にわかりやすく表すことができ生徒の理解を深めることができた。

ウ 実験結果の表示と検証



何度も繰り返し実験をする時間がないため、班ごとに実験を行わせてデータ量を増やすとともに、互いに比較検討させることで実験結果の検証を行わせた。表計算ソフトと大型テレビを使用し、入力フォームを作成しておき、各班の生徒に入力させることで、リアルタイムで結果を表示させ、自分の班の結果と比較検討できるようにした。

② 音楽科

○ 大型テレビとタブレットPCの活用



演奏や合唱の様子を撮影して指導に活かすなど大型テレビにタブレットPCを

接続して授業における効果的な活用を図った。また、多様なアプリを利用することで、授業において臨機応変な対応ができる。生徒は視覚的・聴覚的に理解を深めることができた。

③ 美術科

○ 教材提示装置の活用



教材提示装置を使って絵画などを大きなスクリーンに映し出すことにより、生徒にわかりやすく指示を出したり、説明することができた。また、筆などの道具の使い方等を生徒に視覚的に理解させることができた。

④ 保健体育科

○ DVD教材とプレゼンテーションソフトの活用

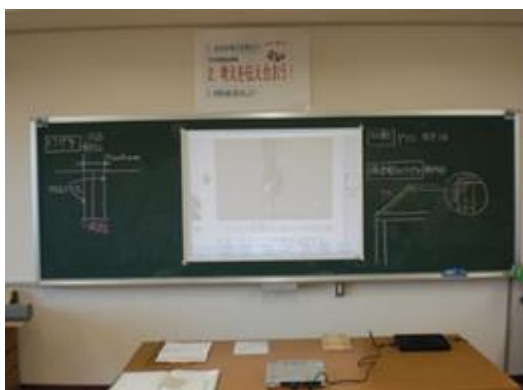


スライドショーによるクイズをすることで、学習課題を明確にした。DVD映像から得た情報をワークシートでまとめることで、理解を深めることができた。

保健の指導においては、市販のDVD映像が多く様々な活動で利用されている。

⑤ 技術・家庭科

○ インタラクティブブラックボードの活用



木材を使って簡単な製品を製作する授業の導入で、ポイントになる技術を提示することで、生徒の理解を深めることができた。また、授業のまとめでは、ノートに記入すべき事項や教科書の重要語句などに正しくまとめられることを目的に使用した。ノートを点検した結果から、ほとんどの生徒が正しくまとめられていたので、効果があったと考える。

○ デジタル教科書の活用

デジタル教科書の活用により、製作や調理実習時の道具・器具の使用方法やポイントを確認させやすい。また、失敗例を動画で確認させることで、怪我の防止や材料の無駄を省くことができた。このように、生徒が理解を深めるために有効な動画等の資料を効果的に提示することができる。

○ 情報モラルに関する指導



情報モラルの未熟さによる不用意な個人情報発信や、他者に対する誹謗中傷などの書き込みが大きな社会問題となっており、実際に起きた事例をもとに構成された資料を用いて指導した。インター

ネット上の安易な振る舞いが、当事者だけでなく家族にまで影響を及ぼす重大な事態を引き起こす行為であることを生徒に理解させるのに大いに役立った。

⑥ 英語科

○ プレゼンテーションソフトの活用



英語に苦手意識を持っている生徒に対しては、視覚的效果で、より理解を深めるための一助となるとともに、学習意欲を高めるために有効だった。

○ 表計算ソフトの活用



授業で、生徒が行ったアンケートをグラフにして提示した。英語に対する興味や関心を高める手立てとして有効であった。

(3) 教科外での実践

① 特別活動

○ ムービーメーカー・大型テレビ

DVDデッキ・ビデオカメラの活用



1年生の特別活動における「どうすれ

ば合唱コンクールの練習がうまくいくだろう」という学習課題の授業では、問題提起の部分で、2、3年生からの問いかけの動画を見せた。問題提起に加えて、考えていくためのヒントも入れていたので、その後の学習がスムーズに運べた。終末部分では、3年生からの激励メッセージの動画を見せ、実践への意欲をより高めることができた。また、2年生の特別活動の、「ポスター発表の改善点を明確にしよう」という学習課題の授業では、導入時に活動を振り返るスライドショーを見せた。また、モデルとして取り上げる班の前のポスター発表の動画を見せ、学習課題を把握させた。どちらも、校内で撮影した写真やビデオ映像をムービーメーカーで編集して使用した。

② その他の活動

- PC・大型テレビ・プロジェクターの活用



人権集会や委員会活動で、全体に同一の指導ができた。

- DVD教材の利用



進路学習、平和学習、人権学習において利用している。

4 成果と課題

どの学校も大型テレビ、プロジェクター、

PC等が整備され、教科や学校行事等での利用頻度は高い。映像や音楽を含めたプレゼンテーションは日常的に行われ、生徒の興味や関心を高めるとともに、効果的な活用も研修されており、学習内容の理解推進の一助にもなっている。

平成27年度に示された教育課程企画特別部会の「論点整理」の情報関係の部分には、「蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる」とある。

このことが、新学習指導要領で求められている、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）につながると考える。ここ数年間で、タブレット端末やインターネット接続環境などICTを含めた必要なインフラ環境の整備が図られる。

そこで、これからのメディア部会の目指す方向は、これらの環境を有効活用する「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業改善だと考える。